

令和2年9月15日

那須烏山市議会議長 久保居 光一郎 様

総務企画常任委員会委員長 相馬 正典

決算審査結果報告書

本委員会に令和2年9月7日に付託された事件は、審査の結果、次のとおり決定したので、那須烏山市議会会議規則（平成17年10月那須烏山市議会規則第1号）第109条の規定により報告します。

- 1 審査期日 令和2年9月8日（火）及び9日（水）
- 2 審査場所 那須烏山市役所 南那須庁舎 第一委員会室
- 3 出席委員 相馬正典、福田長弘、荒井浩二、田島信二、高田悦男
- 4 説明のための出席者
会計管理者兼会計課長 澤村誠一、総合政策課長 石川浩、まちづくり課長 大谷光幸、
総務課長 佐藤博樹、税務課長 高濱裕子、議会事務局長 大谷啓夫、他関係職員
- 5 審査事項
本委員会の所管する総合政策課、まちづくり課、総務課、税務課、会計課、議会事務局、監査委員、選挙管理委員会及び固定資産評価審査委員会の令和元年度那須烏山市の一般会計及び特別会計歳入歳出決算
- 6 審査結果
本委員会が付託を受けた一般会計及び特別会計の決算については、全会一致で原案のとおり認定すべきものと決定いたしました。ただし、次のことについて要望し、意見を付することとします。

各課局共通事項

- ・コロナ禍における新しい生活様式に対応するためにも、時代に合わせた情報通信技術を積極的に活用し、事務の利便性向上や効率化、市民サービスの向上に取り組まれない。

総合政策課

- ・ふるさと応援寄附金は、件数、金額ともに前年度比で増加している。今後も、地域の特色ある返礼品の拡充を図り、寄附の増加に向けさらに努力をされたい。
- ・第1期まち・ひと・しごと創生総合戦略の計画期間が令和元年度で終了したが、第2期の取組に当たっては、毎年度、重要業績評価指標（K P I）の目標値を意識して事業を実施し、目標を確実に達成できるよう努められたい。

まちづくり課

- ・現在策定を進めている地域公共交通網形成計画において、デマンド交通や市営バス等の市公共交通機関へのキャッシュレス決済の導入等も検討されたい。
- ・地域おこし協力隊の採用に当たっては、隊員の目標や意向と活動内容とのマッチングを十分行くとともに、地域活性化等の成果を挙げ、本市に定住できるようにするため、行政と地域住民が一体となるような、隊員の受入れ・サポート体制を構築されたい。

総務課

- ・計画的な職員研修の実施により人材育成に努めているが、情報通信技術の急速な進化や時代の変化に的確に対応し、効果的・効率的に事務を執行するため、さらにICTリテラシーを向上させる研修の実施も検討されたい。
- ・未利用財産は市民共有の財産であることから、将来の利用可能性等も踏まえた上で、公平、公正で透明性のある利活用に取り組まれたい。
- ・新たな防災情報伝達システム「防災 I n f o なすからすやま」の運用を開始したが、登録者が少ない状況にあるため、登録者を増やすよう様々な機会を捉えて周知するとともに、利用者の多いLINE等の活用も視野に入れ、市内における防災情報網の人口カバー率向上を図られたい。

税務課

- ・市県民税や国民健康保険税の徴収率は県内上位にあるものの、固定資産税滞納繰越分における大口滞納により、市税合計の徴収率は著しく低い状況であるため、市民に不信感や不公平感を与えないよう、徹底した滞納整理を行い、徴収率向上に努められたい。また、時代のニーズに合わせ、キャッシュレス決済による納付方法の充実を図られたい。